

分類	3-27	教科名	農業	科目名	総合実習（簿記会計Ⅱ）		
対象学科（コース）	農業経済科（F・流通経済）		学年	3	単位数	4	
指導目標	1. 高度な簿記技術を学び、実務的な思考、判断が行える力を養う。 2. 日商簿記検定2級レベルの簿記技術を習得させる（できる限り日商簿記検定2級取得）。						
内容	1. 日商2級レベルの簿記会計技術の習得。 1) 各勘定科目の取り扱い 2) 決算整理の記帳 3) 決算処理 4) 本支店会計の取り扱い 5) 特殊仕訳帳、伝票 6) 株式会社の記帳 7) 企業会計原則 8) 資産、負債、資本の分類と取扱い 3) 財務諸表 工業簿記（原価計算）レベルの内容に取り組む。 日商簿記検定2級受験						
内容の取扱い	座学及び演習を行う。向上心と自らの努力を重視し、学習の進んだものは、さらに上位の級を目指せるよう、個別指導と演習を多く取り入れた内容とする。						
指導計画	学期	指導事項	指導内容				予定時間
	1学期 4～6月	日商工業簿記演習	日商2級レベルの総合的な演習				40
		日商商業簿記演習	日商2級レベルの総合的な演習				
		日商簿記検定2級受験	日商2級レベルの総合的な演習				
		日商2級程度の学習	企業会計原則				
	2学期 7～11月	日商2級程度の学習、資産	資産の分類と取り扱い、評価、様々な資産。				56
		負債・資本、収益、費用	負債の分類と取り扱い、引当金、偶発債務、資本の分類と取り扱い。収益・費用の認識基準、内部利益の控除。				
		財務諸表の作成、合併買収、連結決算、その他	P/L、B/S、合併、買収時の処理、連結債務書評の作成法、その他1級会計受験に必要な事項。				
		総合的な演習	会計1級レベルの総合的な演習。				
3学期 12～3月	原価計算の学習	工業簿記の仕組み、材料費、労務費、経費。				44	
	工業簿記の基礎と製造原価の費目別計算	日商2級レベルの総合的な演習。					
	個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算	個別原価計算と間接費の配賦、製造部門費の予定配賦、仕損品、くずの処理。各種総合原価計算法。標準原価計算と職説原価計算。					
	会計1級演習	日商2級レベルの総合的な演習。					
商業簿記、原価計算の総合的な演習	日商2級レベルの総合的な演習						
日商簿記検定2級受験	まとめと反省						
簿記技術のまとめ							
教科書・副教材他	日商簿記検定模擬試験問題集（実教出版）						

評価規準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
講義	◎	○			
演習	○	◎	○		
定期考査・検定		○	○	◎	
全経簿記検定2級取得。自ら鍛え、上位の技術を習得しようとする積極性を重視。					